

株式会社 小田島建設

小田島氏 提出資料

平成18年7月28日  
株式会社小田島建設  
代表取締役 小田島修平

## 建設業による農業経営の取組み

### 建設業から農業参入の意義等

高齢化、後継者不足等により、地域の活力低下、耕作放棄地増大の懸念  
建設業としての会社の存在意義  
農業生産法人による水田経営（H12）  
特区制度を利用した直接参入（H17）

### コスト縮減のための取組み

小作料を条件に応じて細かく設定  
従業員、定年者パート活用による柔軟な労働力調整  
機械・施設のコスト大  
農業施設の維持・管理が現体制で続けられるか懸念

### その他、農業経営安定・発展のための取組み

生産、品質向上のため技術の向上、共有化を推進  
米については個人販売にも力点。独自の米袋・HP・チラシ製作中  
育苗ハウスを利用した越の丸茄子の生産

### 今後の規模拡大の構想

今後5年間で30haの農地が供給されると想定  
土地条件に応じた水田経営、他品目の振り分け  
地域内大規模農家との農地の交換による農地の集約化

### 規模拡大等に当たっての課題等

農家の信頼を得ることが大事  
水路、農道等の老朽化に伴う維持・管理負担増大の懸念